

『日本評価研究』投稿規定

2017. 7. 20 改訂

2008. 9. 29 改訂

2003. 4. 18 改訂

2002. 3. 25 改訂

2001. 9. 9 改訂

1. 『日本評価研究』(The Japanese Journal of Evaluation Studies)は、評価に関する論文、論考、調査報告等を掲載する。
2. 『日本評価研究』は、会員間の研究成果交流の場を提供し、内外における評価研究の一層の発展に資することを主目的として発行されており、原則として会員による寄稿を掲載する。なお、依頼原稿を除き、ファーストオーサーは学会員でなければならない。また、投稿は、一時に一原稿に限るとともに、他学会誌などへ二重に投稿などのない未発表のものとする。
3. 投稿された原稿は、編集委員会の責任において審査を行ない、採否を決定する。審査にあたっては、1原稿毎に2名の査読者を選定し、査読結果を参考にする。(査読者には、投稿者名を伏せて査読を依頼する。)
4. 原稿料は支払わない。
5. 『日本評価研究』に掲載された論文等は、その全文をインターネット上の本学会のホームページに掲載する。
6. 投稿にあたっては、投稿原稿が、①研究論文、②総説、③研究ノート、④実践・調査報告、⑤その他のうち、どのカテゴリーに入るかを明記する。ただし、カテゴリーについての最終判断は、編集委員会で行なう。「研究論文」は評価の理論構築あるいは慣行の理解について重要な学問的貢献となると認められる論文、「総説」は、評価の理論あるいは慣行について概観する論文、「研究ノート」は「研究論文」作成過程での理論的あるいは経験的な研究の中間的成果物に相当する論考、「実践・調査報告」は評価事業の実践あるいは評価にかかわる調査の報告、「その他」は編集委員会が独自に企画する特集に掲載する依頼原稿等である。
7. 投稿方法
 - (1) 使用言語は日本語または英語とする。
 - (2) 著者校正は原則として第一校までとする。
 - (3) 英文原稿については、ネイティブスピーカーによる英文チェックを済ませ、完全な英文にして投稿すること。
 - (4) ハードコピー1部(A4版)を提出する。電子ファイルでの提出も可能とする。その際、連絡先(住所、Tel、Fax、Email)と原稿の種類を明記すること。掲載可と判断された原稿については、必要なリライトを経た後に、最終原稿の電子ファイル(MS word)を

提出する。その際、オリジナル図表(Excel等)を添付すること。

- (5) 刷り上がりは最大 14 ページとする。これを超える場合は、その経費は著者負担とする。
- (6) 日本語原稿の最大文字数は以下のとおり。①研究論文 20,000 字、②総説 15,000 字、③研究ノート 15,000 字、④実践・調査報告 20,000 字、⑤その他適宜。それぞれ和文要旨を 400 字程度、英文要旨を 150words 程度、及び和文・英文でキーワード (5 つ以内) を別に添付する。印刷は 1 ページ、20 字×43 行×2 段 (1,720 字) とする。20,000 字の原稿の場合、単純計算では英文要旨 1 ページを加えて合計 13 ページとなるが、図表の量によっては、それ以上のページ数となり得るので、注意すること。
- (7) 英文では A4 版用紙に左右マージン 30mm をとり、10 ポイントフォントを使用し、1 ページ 43 行のレイアウトとする (1 ページ約 500words)。論文冒頭に 150words 程度の Abstract をつける。14 ページでは、7,000words 相当になるが、タイトルヘッド等を考慮して、最大語数を約 6,000words (図表、注、文献込み) とする。図表の量によっては、ページ数が予想以上に増える場合もあり得るので、注意すること。

8. 送付先

〒108-0075

東京都港区港南 1-6-41

品川クリスタルスクエア 12 階 (一財) 国際開発センター内

日本評価学会事務局 「日本評価研究」編集担当

E-mail: jes.info@evaluation.jp.org

『日本評価研究』執筆要領

2002.9.18 改訂

2002.3.25 改訂

1. 本文、図表、注記、参考文献等

(1) 論文等の記載は次の順序とする。

日本語原稿の場合

第1 ページ：表題、著者名、所属先、E-mail、和文要約（400 字程度）、和文キーワード（5 つ以内）

第2 ページ以下：本文、謝辞あるいは付記、注記、参考文献

最終ページ：英文表題、英文著者名、英文所属先、E-mail、英文要約（150words 程度）、英文キーワード（5 つ以内）

英文原稿の場合

第1 ページ：Title; the author's name; Affiliation; E-mail address; Abstract (150 words); Keywords (5 words)

第2 ページ以下：The main text; acknowledgement; notes; references

(2) 本文の区分は以下のようにする。

例1（日本語）

1.

(1)

(a)

(2)

(3)

例2（英文）

1.

1.1

1.1.1

1.1.2

(3) 図表については、出所を明確にする。図表は原則として、筆者提出のものをそのまま写真製版するので、原図を明確に作成すること。写真は図として扱う。

例1：日本語原稿の場合

図1 ○○州における生徒数の推移



(注)

(出所)

表 1 ○○州における事故件数

--

(注)
(出所)

例 2 : 英文原稿の場合

--

Figure 1 Number of Students in the State of ○○

Note:

Source:

--

Table 1 Number of Accidents in the State of ○○

Note:

Source:

- (4) 本文における文献引用は、「……である (阿部 1995、p.36)。」あるいは「……である (阿部 1995)。」のようにする。英文では、(Abe 1995, p.36) あるいは(Abe 1995)とする。

(5) 本文における注記の付け方は、(…である¹。)とする。英文の場合は、(…¹)とする。

(6) 注記、参考文献は論文末に一括掲載する。

注記

1 ……。

2 ……。

(7) 参考文献は、日本語文献は著者の五十音順、外国語文献は著者のアルファベット順に記し、年代順に記載。参考文献の書き方については以下のようにする。

日本語単行本：著者（発行年）『書名』、発行所

（例）日本太郎（1999）『これからの評価手法』、日本出版社

日本語雑誌論文：著者（発行年）「題名」、『雑誌名』、巻(号)：頁－頁

（例）日本太郎（1999）「評価手法の改善に向けて」、『日本評価研究』、1(2)：3-4

日本語単行本中の論文：著者（発行年）「題名」、編者『書名』、発行所、頁－頁

（例）日本太郎（2002）「行政評価」、日本花子『評価入門』、日本出版社、16-28

複数の著者による日本語文献：著者・著者（発行年）『書名』、発行所

（例）日本太郎・日本花子（2002）『政策評価』、日本出版社

英文単行本：著者（発行年）. 書名. 発行地：発行所.

（例）Rossi, P. H. (1999). *Evaluation: A Systematic Approach 6th edition*. Beverly Hills, Calif: Sage Publications.

英語雑誌論文：著者（発行年）. 題名. 雑誌名, 巻(号), 頁－頁.

（例）Rossi, P. H. (1999). Measuring social judgements. *American Journal of Evaluation*, 15(2), 35-57.

英語単行本中の論文：著者（発行年）. 題名. In 編者 (Eds.), 書名. 発行地：発行所, 頁－頁.

（例）DeMaio, T. J., and Rothgeb, J. M. (1996). Cognitive interviewing techniques: In the lab and in the field. In N. Schwarz & S. Sudman (Eds.), *Answering questions: Methodology for determining cognitive and communicative processes in survey research*. San Francisco, Calif: Jossey-Bass, 177-196.

2名の著者による英語文献：姓, 名, and 姓, 名 (発行年). 書名. 発行地：発行所.

（例）Peters, T., and Waterman, R. (1982). *In Search of Excellence: Lessons from America's Best Run Companies*. New York: Harper & Row.

3名以上の著者による英語文献：姓, 名, 姓, 名, and 姓, 名 (発行年). 書名. 発行地：発行所.

（例）Morley, E., Bryant, S. P., and Hatry, H. P. (2000). *Comparative Performance Measurement*. Washington: Urban Institute.

（注1）同一著者名、同一発行年が複数ある場合は、(1999a)、(1999b)のようにa,b,cを付加して区別する。

（注2）2行にわたる場合は2行目移以降を全角1文字（英数3文字）おとしで記述する。